



株式会社四釜製作所

TEL.03-3800-3141 FAX.03-3800-3063

URL <http://www.shikama.biz/>



四釜 裕和
代表取締役

代表者：代表取締役 四釜 裕和

所在地：〒116-0011 荒川区西尾久7-16-12

資本金：1,000万円

従業員：13人

創業年：昭和41年

業種：金属加工業

事業内容：金属ディスプレイ、装飾金物、
看板の制作

創業以来磨かれてきた金属加工技術

同社は、昭和41年に現取締役会長が創業し、以来、商業施設の店舗や飲食店、図書館などの公共施設のディスプレイ（看板や装飾品）の企画・設計・制作を行っている。平成26年6月に四釜裕和氏が代表取締役社長に就任し、令和3年3月には創業55年を迎えた。

同社の製品は業界内でも高い品質が認められており、高級アクセサリ店のショーケースや大手チェーン店の看板など、誰もが目にしているディスプレイを手掛けている。

顧客は全国各地の商業施設や店舗になるが、大型商業施設の多くは関東圏に点在しており、同社売上の約4割は関東圏である。都心に近い施設は車での移動が可能な距離であるため、直接製品の搬入が可能であり、その日のうちに現場へ駆けつけることも可能だ。山手線沿線の同業他社は多くなく、荒川区に工場を構えることによるフットワークの軽さが同社の強みにもなっている。

令和元年11月には本社工場の隣に第二工場を建設した。第二工場は本社工場よりも作業面積が広く天井が高い工場であるため、大きなディスプレイの制作がしやすい環境となった。



第二工場外観



第二工場内

ライフワークバランスを重視

同社では社員のライフワークバランスを重視している。以前は残業することも多かったが、現在では社員のプライベートを重視。繁忙期を除いて定時退社を推進している。これは社長の指示だけでなく、効率的に業務を行ってきた結果、労働時間を短縮できたことも大きい。社長との距離

も近く、様々な提案がしやすい環境も労働環境改善に寄与している。

若手の採用・育成にも力を入れており、若手を一から育てる活気ある職場づくりを目指している。

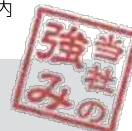


スポーツ用品店什器



第一工場内

金属加工のスペシャリスト



同社は高品質な製品とスピーディーな対応が売りで、業界内でも口コミで新規顧客を獲得するほど信頼が厚い。高品質な製品の源は、職人の技術だ。制作するディスプレイのほとんどがオーダーメイド品となるため、機械で制作することはできなく、職人の技術・経験に頼る部分が多い。例えば、材料となる鉄などの金属は気温や湿度によって状態が変化するため、夏と冬では扱いが異なる。夏は高温高湿のため材料が酸化しやすく、素早く丁寧に作業することが求められる。また、材料に熱を加える際も気温によって温まるスピードが違うため、金属の音や感触からその日の加工手法を決めている。このような技術はデータ化できないため、簡単に真似することはできない同社固有の技術である。

■主な保有設備

・シャーリング・ベンダー・ハイブローシャー・コーナーシャー・パワープレス・アルゴン溶接機・半自動溶接機（アーク式、プラズマ式）・スポット溶接機・ボール盤・メタルソー・ホイストクレーン